

始



現代音樂

歌曲集

—瀧起堂編—



3

芝生の舞踏

犬童球溪

一、涼しき木蔭の芝生の蓆に

足並揃へて踊る乙女

くつ先軽くも草葉をこすれば

ゆかしき樂の音妙にひびく

嬉しき集ひよ樂しき團欒よ

暮るゝも忘れて一日送る。

二、眞青に彩る芝生の蓆に

手を取り交して踊る乙女

眞白の衣は青葉に映りて

たくみの繪巻によくも似たる

嬉しき集ひよ樂しき團欒よ

暮るゝも忘れて一日送る。

大河の流れ

今中楓溪

一、山ふかき 木々の 雫

時知らに 落葉くゞり

あつまれば あな あな

岩間 わける 水とあひつ

末つひに 大河に。

二、大河は 流れ 澄みて

朝夕に 白帆うかべ

野をめくり うねうね

白波立つ 海にはては

空や水 いとはるか。

大河の流れ

芝生の舞踏

Allegro
mp

芝生の舞踏

1. スズシキコカゲノシバフノムシロニ
2. まさをにいろごるしばふのむしろに

アシナミソロヘテヲドルヲトメ
てをどりかはしてをどるをどめ

mf

クツサキ-カルクモクサバラコスレバ
ましろの-ころもはあをばにうつりて

ユカシキ-ガクノネタヘニヒービク
たくみの-まきによくもに-たる

mf *pp*

ウレシキツドヒヨダノシキマトキヨ
うれしきつどひよたのしきまどわよ

mf *ten.*

クルルモーワスレテヒトヒオ-クル
くるるも-わすれてひとひお-くる

芝生の舞踏